

2017年度・決算書要約

単位：千円

貸借対照表

2018年7月31日

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金及び預金	740,743	共済契約準備金	246,809
有形固定資産	1,567	その他負債	16,089
無形固定資産	7,848	負債合計	262,898
その他資産	25,554	(純資産の部)	
繰延税金資産	48,448	出資金	309,490
		利益剰余金	251,773
		純資産合計	561,263
資産合計	824,162	負債及び純資産合計	824,162

損 益 計 算 書

2017年8月1日より2018年7月31日まで

剰余金処分計算書

2018年10月21日

	科 目	金 額
経 常 損 益 の 部	I 経常収益	
	1 共済引受収益	507,076
	2 資産運用収益	13
	3 その他経常収益	46
	経常収益合計	507,137
	II 経常費用	
	1 共済引受費用	
	共済金	119,200
	代理店手数料	26,684
	支払準備金繰入額	57,137
	普通責任準備金繰入額	142,894
	異常危険準備金繰入額	7,659
	計	353,575
	2 営業費及び一般管理費	42,279
	経常費用合計	395,854
経常利益合計	111,282	
税引前当期純利益	111,282	
税等	法人税等合計額	10,782
当期純利益	100,500	

I 当期末処分剰余金	
1 当期純利益金額	100,500
2 前期繰越剰余金	4,273
	104,773
II 剰余金処分額	
1 利益準備金	20,200
2 組合積立金	10,100
3 利用分量配当金	71,912
	102,212
III 次期繰越剰余金	2,560

2017年度実績

開業医共済休業保障制度給付率	40.95%
利用分量配当率	26%
ソルベンシーマージン比率	1,613.0%

※ソルベンシーマージン比率とは、保険会社等の財務健全性を示す指標で、通常の予測を超えて発生するリスクに対応できる支払余力をどれだけ有しているかを意味します。行政監督上は、200%を下回ると監督当局によって、早期に経営の健全性の回復を図るための措置がとられます。